

作成日 年 月 日

改訂日 年 月 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ソーダ灰（軽灰、一般工業用）
 製品コード : <記載が望ましい>
 会社名 : <必ず記載>
 住所 : <必ず記載>
 担当部門 : <記載が望ましい>
 担当者（作成者） : <記載が望ましい>
 電話番号 : <必ず記載>
 FAX 番号 : <記載が望ましい>
 メールアドレス : <記載が望ましい>
 緊急連絡先 : <記載が望ましい>
 推奨用途及び使用上の制限 : <記載が望ましい>
 整理番号 : <記載が望ましい>

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性／引火性ガス	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外
支燃性／酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない
健康有害性	
急性毒性（経口）	区分5
急性毒性（経皮）	区分5
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分4
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない

	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分3（気道刺激性）
	特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ
 皮膚に接触すると有害のおそれ
 吸入すると有害
 目への刺激
 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き :
 予防策

保護眼鏡、保護面を着用すること。
 粉じんを吸入しないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

対応

取り扱い後はよく手を洗うこと。
 吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管
 廃棄

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 容器を密閉して換気の良いところで施錠して保管すること。
 内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性：＜記載が望ましい＞

重要な徴候 : ＜記載が望ましい＞
 想定される非常事態の概要 : ＜記載が望ましい＞
 国・地域情報 : ＜記載が望ましい＞

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
 化学名又は一般名 : 炭酸ナトリウム
 別名 : 炭酸ナトリウム
 化学特性（化学式等） : Na₂CO₃
 CAS番号 : 497-19-8

成分及び濃度又は濃度範囲（含有量）

: 99.0%以上

官報公示整理番号（化審法・安衛法）

: 化審法(1)-164

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物： <記載が望ましい>

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 清浄な大量の流水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
できるだけ早く医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 意識のある場合には水又は牛乳をコップで1-2杯飲ませ、吐出させる。
被災者の意識がない場合には直ちに医師の診断を受ける。
- 最も重要な徴候及び症状 : <記載が望ましい>
- 応急措置をする者の保護 : <記載が望ましい>
- 医師に対する特別な注意事項 : <記載が望ましい>

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 不燃性なので周辺の火災に適切な消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 特に無し。
- 火災時の特有の危険有害性 : <記載が望ましい>
- 特有の消火方法 : <記載が望ましい>
- 消火を行う者の保護 : <記載が望ましい>

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 皮膚に付着しないように注意し、作業の際は適切な保護具（手袋、保護マスク、ゴーグル、エプロン等）を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等へ排泄され、環境への影響を起さないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合は大量の水で洗い流すか拭き取る。
大量の場合は、固体のまま出来るだけ回収する。残った固体は大量の水に溶解した後、薄い酸で徐々に中和して排水溝に流す。
- 二次災害の防止策 : <記載が望ましい>

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用する。
- 局所排気・全体換気 : 粉塵が立たないように排気を行う。
- 注意事項 : 皮膚、眼等への接触を避ける。
- 安全取扱い注意事項 : 容器はその都度密栓する。換気の良い場所で取り扱う。

保管

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、湿気の少ない場所で保管する。

安全な容器包装材料 : 耐食性の容器に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会 (2006 年版) : 第 3 種粉塵 2mg/m³ (吸入性粉塵) 8mg/m³ (総粉塵) ¹⁾

ACGIH (2006 年版) : 10mg/m³ (総粉塵) ²⁾

保護具

呼吸器の保護具 : 防塵用マスク

手の保護具 : 保護手袋 (ゴム製のもの等)

目の保護具 : 保護眼鏡 (ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具 : 長袖、長ズボン (材質の特定は無し)

9. 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色など) : 白色粉体

臭い (臭いの閾値) : 無し

pH : 11.4 (3%水溶液)

融点/凝固点 : 851 °C

沸点、初留点と沸点範囲 : データ無し

引火点 : 無し (不燃性)

自然発火温度 (発火点) : 無し (不燃性)

燃焼性 (固体、ガス) : 無し (不燃性)

燃焼又は爆発範囲の上限/下限 : 無し (不燃性)

蒸気圧 : データ無し

蒸発速度 : <記載が望ましい>

比重 (相対密度) : データ無し

溶解性 : 21g/ 100g H₂O (20°C)

オクタノール/水分配係数 : データ無し

分解温度 : データ無し

その他のデータ : <記載が望ましい>

10. 安定性及び反応性

安定性 : 空気中で徐々に吸湿して、一水塩となる。

危険有害反応可能性 : 酸と発熱反応し、CO₂を放出する。

避けるべき条件 : 該当無し。

混触危険物質 : 酸性物質

危険有害な分解生成物 : 該当物無し。

その他 : <記載が望ましい>

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口投与 ラット LD₅₀ 4,090mg/kg ³⁾

経皮投与 ラット LD₅₀ 2,300mg/m²/2h ³⁾

皮膚腐食性/刺激性 : 皮膚刺激性 ウサギ 500mg/24h 軽度 ³⁾

眼に対する重篤な損傷／刺激性：眼刺激性 ウサギ 100mg/24h 中等度³⁾

呼吸器感作性／皮膚感作性：＜情報があれば記載＞

生殖細胞変異原性（変異原性）：＜情報があれば記載＞

発がん性：＜情報があれば記載＞

生殖毒性：＜情報があれば記載＞

特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：気道刺激性⁴⁾

特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：＜情報があれば記載＞

吸引性呼吸器有害性：＜情報があれば記載＞

その他：＜情報があれば記載＞

1 2. 環境影響情報

生態毒性

急性魚毒性：カダヤシ LC₅₀ (96h) 740ppm³⁾

ブルーギル LC₅₀ (96h) 300ppm³⁾

残留性／分解性：＜情報があれば記載＞

生体蓄積性：＜情報があれば記載＞

土壌中の移動性：＜情報があれば記載＞

他の有害影響：＜情報があれば記載＞

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：大量の水に溶解した後、薄い酸で徐々に中和して排水溝に流す。中和時には濃い酸で中和すると、発熱が大きく、また、CO₂ガスの発生が激しくなり、液が容器から噴出することがあるので、必ず薄い溶液で中和することが必要である。

汚染容器・包装：許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類：該当しない。

国連番号：該当しない。

品名（国連輸送品名）：該当しない。

容器等級：該当しない。

海洋汚染物質：該当しない。

国内規制：＜記載が望ましい＞

輸送の特定の安全対策及び条件：＜記載が望ましい＞

緊急時応急措置指針番号：＜記載が望ましい＞

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当しない。

労働安全衛生法：該当しない。

化管法：指定化学物質に該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律：施行令別表第 1 有害液体物質（Z 類物質）（溶液）

1 6. その他の情報

引用文献

- 1) 産業衛生学会誌 vol.48 (2006)
- 2) ACGIH, TLVs and BEIs Based on the Documentation of the Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents & Biological Exposure Indices (2006)
- 3) IUCLID(2000) International Uniform Chemical Information Database
- 4) ICSC(2004) WHO/IPCS ICSC カード(International Chemical Safety Card)

その他

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意してください。

記載内容の問い合わせ先